

建設キャリアアップシステム事業者 ID をお持ちの場合は
その番号を転記してください。

記入例（旧証紙交換）310円→320円

共 済 証 紙 受 払 簿

一期首で必ず入力してください。

(様式第030号)

共済契約者名		けんたい建設株式会社			③決算日		4年3月31日		◎ この受払簿は、受入・払出の都度、掛金収納書などをみて日付を所定欄に記入し、決算毎に合計を出して整理して下さい。				
①共済契約成立年月日(年・月・日)		23年4月1日		前期(前項)からの繰り越し日数(「0」でも)を必ず入力してください。		決算期間		3年4月1日 ~ 4年3月31日		◎ 共済手帳の更新手続きを行ったときは、「共済手帳受払簿」(様式第29号)及び下記の「更新年月日手帳更新数」欄に記載して下さい。			
②共済契約者番号		92 - 9999		建設キャリアアップシステム事業者ID		12345678901234							
受入・払出 年月日	受 入			払 出			残 高 (A)-(B)	払出欄の貼付の内訳		更新年月日 手帳更新数	備考		
	購入	元請から受入	計 (A)	貼付	下請へ交付	計 (B)		貼付人員	就 労 月				
前期(前頁)繰越	金融機関名	元請名	100										
3年4月1日	〇〇銀行		20			120	120		6	3年3月分	(年 月) 日冊		
3年5月3日	〇〇銀行		300			420	100		5	3年4月分	(年 月) 日冊		
3年6月5日	金融機関名	元請名 道路建設(株)				700			4	3年5月分	(年 月) 日冊		
3年7月5日	金融機関名	元請名							4	3年6月分	(年 月) 日冊		
3年8月3日	金融機関名	元請名							4	3年7月分	(年 月) 日冊		
3年9月5日	金融機関名	元請名				1,120	60		3	3年8月分	(年 月) 日冊		
3年10月2日	金融機関名	元請名				1,120	60		3	3年9月分	(年 月) 日冊		
3年10月12日	金融機関名	旧証紙交換	-240			880				年 月分	年 月) 日冊		
3年10月12日	金融機関名	新証紙受入	233			1,113				年 月分	年 月) 日冊		
3年11月4日	金融機関名	元請名				1,113	60		3	3年10月分	(年 月) 日冊		
3年12月1日	金融機関名	元請名								年 11月分	3年12月5日 (3) 日冊		
4年1月10日	金融機関名	元請名				1,207	60		3	3年12月分	(年 月) 日冊		
決算期間内の合計	頁計	407	頁計	700		頁計	300		④決算日の被共済者数	建退共 確認	⑤決算期間内 手帳更新数	の 冊	
	累計	407	累計	700		累計	300						
	⑥ 頁計	129,440	頁計	217,000		⑧ 頁計	93,000		3		3	差額金 合計 160円	
	累計	129,440	累計	217,000		累計	93,000		3		累計	3	

令和3年10月12日 〇〇銀行で旧証紙交換
310円証紙240日分 → 320円証紙233日
残った旧証紙240日分を金融機関で交換したら、持ち込んだ枚数(日数)を購入欄にマイナス(-)計上して交換後の新証紙233日を再度購入欄で受け入れてください。

証紙交換を行った
金融機関名

310円証紙から320円証紙への交換時に発生した差額金
(金融機関へ支払った差額金)

$$(20 + 300 - 240) \times 310 + (233 + 34 + 60) \times 320 = 129,440 \text{円}$$

現在、入力フォーム(Excel)で作成されている場合は、310円で計算式が入っています。手計算して算出した金額を直接入力してください。
入力後は、計算式が削除されているため次年度は再度入力フォーム(Excel)をダウンロードしてご使用ください。
なお、建退共本部で交換を行っている場合は、「旧証紙交換分」及び「新証紙受入分」の枚数は⑥合計の計算に入れなくてください。